世話やきし樽乃むかしけも
あくて火燵に足を伸しく

一幹

餅喰し後便しくしけさの春

翔廻りてもつむ如く来る

まゝ草ぞ船を思む田雪那

のどかさやとりも萬歳風巾

戸も難波乃梅なりしの地ゟ
伝へ来し梅の枝を
いかしかりてちんて乃見物

うめ咲くや実ちへ乃まつのちゐしかし

知橋

浴橋沼寿梓